

# ちよつとつ話

第二七号 歩も金に

除夜の鐘と共に百人の煩惱を打ち消し日本の何処かで素晴らしい御来光を拝みながら新年を迎えられた方も沢山お見えになった事とお慶び申し上げます。

平成も二十六年目を迎えました。過ぎ行く時は早く、正に光陰矢の如く「でございます。天皇皇后両陛下も御高齢なられ次世代の事に心配りをしてみえます。況や我々の家庭に於いても日々安泰に子孫繁栄を願わずには居られません。我が家は我が家で守るが原則ですが天地人」が三位一体と成つて苦界を乗り越えていきましょう。何一つ破壊されても結果は全体を壊す事になります。清々しい朝を迎え、清々しく一日働き、清々しく一日を終える事ができる様な日暮しを、皆様と共に私も今年こそ心掛け頑張つて見ようと思つています。一年の計画を「ろは」で立ててみました。あは勿論愛情が第一でしょう、

「か」は開運を願う為に、「さ」は才能の啓発、「た」は宝の持ち腐れにならない様に、「な」は仰げば尊としの如く、名を大切に、「は」歯を食いしばり、「ま」は間合いが取れ、間が抜けることなく事を進め、「や」は役に立つ人となり、「う」は神仏への礼拝忘れず、來來世世の長久を念じ、「わ」は和を以て輪を広げ万民が平穩に暮らせるようにできれば、「わ」我が身の運命も開けること間違いないでしょう。

高野登氏は言う「『ま日本人に必要なのは身を修める事』であると、そしてさらにいえば昔、日本人の精神は修身に因つて培われ弱い者いじめはしない、年下の者の面倒をみる、年長者を敬うということが当たり前にできていたと、身を修めるには、教育では無く教養が必要です」と『御もつともな事です』。

今年午年、馬鹿などと思える事が一転日の目を見る事になるやもしれません。有形無形を問わず素晴らしいと感銘を受ける事が多々あります。音楽などは世界共通の楽譜によって演奏されますが楽団の演奏者によって随分変わってしまうものです。指揮者のメンタリテイがそうさせるのでしょうか。坊主の称える声明や、歌も同じで歌手によって響きが違つてきます。音楽だけに留まらず、人間は千差万別誰がやっても同じという事がないのでしょうか。多彩・無限に広がります。それだけに必ず自分の道があると思います。自分の道が解かると言う事が仏教で言う覚り、に成るのであると自分は思つています。

油が乗ってくれば無我夢中にもなりますが、五里霧中にならないように、大きく深呼吸をして間違いが無いか時には正してみましよう。それでは二六年出発進行。

ぼやくなぐちるな これからじゃぶつぶつ言つても はじまらぬ 佳職

二十六年一月一日

善壽界善入院油掛地藏尊